受検番号	氏名

2 前建一

令和７年度（前期）

2 級建築施工管理技術検定

第一次検定問題

令和７年６月８日（日）

〔注　意　事　項〕

1．ページ数は，表紙を入れて 29 ページです。

2．試験時間は，**10 時 15 分から 12 時 45 分**です。

3．問題の解答の仕方は，次によってください。

イ．〔No.　1〕から〔No.　4〕までの **4 問題**は，**全問題を解答**してください。

ロ．〔No.　5〕から〔No. 14〕までの **10 問題**のうちから，**5 問題を選択し，解答**してください。

ハ．〔No. 15〕から〔No. 17〕までの **3 問題**は，**全問題を解答**してください。

ニ．〔No. 18〕から〔No. 27〕までの **10 問題**のうちから，**7 問題を選択し，解答**してください。

ホ．〔No. 28〕から〔No. 37〕までの **10 問題**は，**全問題を解答**してください。

ヘ．〔No. 38〕から〔No. 42〕までの **5 問題**は，**全問題を解答**してください。

ト．〔No. 43〕から〔No. 50〕までの **8 問題**のうちから，**6 問題を選択し，解答**してください。

4．選択問題は，解答数が**指定数を超えた場合，減点となります。**

5．問題番号〔No.　1〕から〔No. 37〕，〔No. 43〕から〔No. 50〕は，**四肢択一式**です。
正解と思う肢の番号を**1 つ**選んでください。

6．問題番号〔No. 38〕から〔No. 42〕は，施工管理法の**能力問題**で**五肢択一式**です。
正解と思う肢の番号を**1 つ**選んでください。

7．解答用紙への記入に当たっては，次によってください。

マークの塗りつぶし例 ●

イ．解答は，選んだ番号を右のマークの塗りつぶし例に従って，〔HB〕の**黒鉛筆**か**黒シャープペンシル**で塗りつぶしてください。ボールペン，サインペン，色鉛筆等では採点されません。

ロ．マークを訂正する場合は，消しゴムできれいに消して訂正してください。

8．解答用紙は，雑書きしたり，汚したり，折り曲げたりしないでください。

9．この問題用紙は，計算等に使用しても差し支えありません。

10．漢字に付した**ふりがな**は補足であり，異なる読み方の場合があります。

11．この問題用紙は，第一次検定の試験終了時刻まで在席した場合に限り，持ち帰りを認めます。
途中退席する場合は，持ち帰りできません。

※ **問題番号**〔No.　1〕から〔No.　4〕までの**4問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No.　1〕 換気に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

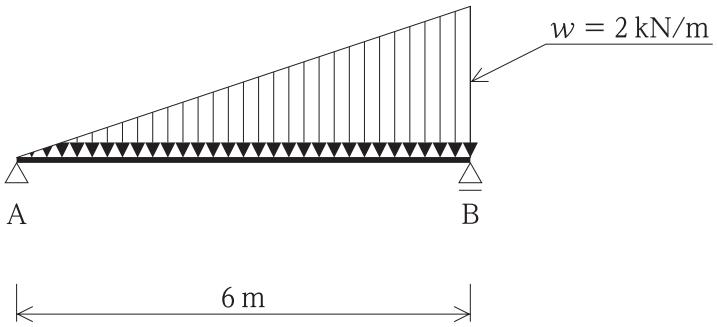
1. 風力換気における風圧力は，風速の2乗に比例する。
2. 温度差換気における換気量は，給気口と排気口の高低差の平方根に比例する。
3. 必要換気量は，単位時間当たりの室内の空気汚染質の発生量を，室内の汚染質濃度の許容値と外気の汚染質濃度との差で除して求められる。
4. 機械換気方式には，屋外の風圧力を利用するものと室内外の温度差による空気の密度の違いを利用するものがある。

〔No.　2〕 木造在来軸組構法に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 洋小屋は，垂直材，水平材，斜材を三角形に組み立てたトラスで構成したものである。
2. 胴差は，垂木を直接受けて屋根荷重を柱に伝えるための部材である。
3. 構造耐力上主要な部分である継手又は仕口は，ボルト締，かすがい打，込み栓打等によりその部分の存在応力を伝えるように緊結する。
4. 大梁その他の横架材のスパン中央部付近の下側には，耐力上支障のある欠込みを設けないものとする。

※ **問題番号**〔No.　1〕から〔No.　4〕までの**4問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No.　3〕 図に示す単純梁ABに等変分布荷重が作用したとき，支点Bに生じる鉛直反力の大きさとして，**正しいもの**はどれか。



1. 2 kN
2. 3 kN
3. 4 kN
4. 6 kN

〔No.　4〕 防水材料に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 塗膜防水材は，モルタルに調合して塗布することで防水層を形成する。
2. 改質アスファルトは，合成ゴムや合成樹脂等を添加して，アスファルトの温度特性等を改良したものである。
3. 網状アスファルトルーフィングは，立上り防水層の張りじまいや貫通配管回り等の増張りに用いる。
4. アスファルトプライマーは，下地と防水層の接着性を向上させるために用いる。

※ **問題番号**〔No.　5〕から〔No.　14〕までの**10問題**のうちから，**5問題を選択し，解答**してください。
5問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No.　5〕　照明に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 反射グレアには，視対象面からの正反射光や指向性の強い光によって，視対象面に光の幕ができたように見え，視対象が見えにくくなる現象がある。
2. 配光とは，光源を中心に各方向に広がる光度の空間的分布を表したものである。
3. 人工光源において，色温度が高くなるほど赤みがかった光色となる。
4. 光束法による室内の平均照度の算出式において，設計対象面上の平均照度は設計対象面の面積に反比例する。

〔No.　6〕　色に関する一般的な記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 対比する色の明度や彩度の差が大きくなると，視認性は向上する。
2. 色彩によって感じられる距離感は異なり，寒色は暖色に比べて遠くに感じられる。
3. 補色関係にある色どうしを並べると，同化して互いの鮮やかさが失われて見える。
4. 色の重量感は明度に左右され，明度の高い色は軽く，明度の低い色は重く感じられる。

〔No.　7〕　鉄筋コンクリート構造に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 柱の最小径は，原則として，その構造耐力上主要な支点間の距離の $\frac{1}{20}$ 以上とする。
2. 腰壁やたれ壁が付いた柱は，付いていない柱に比べ，地震時にせん断破壊を起こしやすい。
3. 耐力壁の厚さは，12 cm 以上で設計する。
4. 耐力壁は，建築物の重心と剛心をできるだけ近づけるように配置する。

※ **問題番号**〔No.　5〕から〔No.　14〕までの**10問題**のうちから，**5問題を選択し，解答**してください。
5問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No.　8〕 鉄骨構造の接合に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 高力ボルト接合の摩擦面には，ショットブラスト処理等により一定の値以上のすべり係数を確保する必要がある。
2. 完全溶込み溶接とは，溶接部の強度が母材と同等以上になるように全断面を完全に溶け込ませる溶接である。
3. 溶接と高力ボルトを併用する継手で，溶接を先に行う場合は両方の許容耐力を加算してよい。
4. 隅肉溶接継目の許容応力度は，母材の許容せん断応力度と同じ値とする。

〔No.　9〕 基礎杭に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 既製コンクリート杭のセメントミルク工法は，根固め液が流出するおそれがあるため，伏流水がある地盤には適していない。
2. 既製コンクリート杭の中掘り工法は，杭の中空部から掘削土を排出しながら杭を圧入するもので，杭径の大きなものの施工に適している。
3. 外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）は，一般に継杭の上杭として，遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）と組み合わせて用いられる。
4. 場所打ちコンクリート杭では，地盤の種類によらず，杭とその周囲の地盤との摩擦力を杭の支持力に見込むことができない。

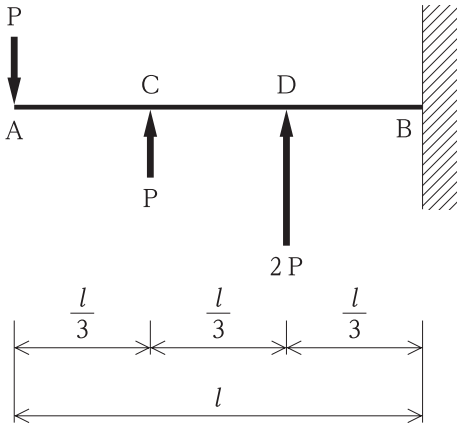
※ **問題番号**〔No.　5〕から〔No. 14〕までの **10 問題**のうちから，**5 問題を選択し，解答**してください。
5 問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 10〕 建築物の構造設計における荷重及び外力に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

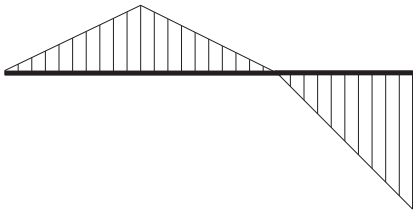
1. 固定荷重を算出する際，普通コンクリートを用いた鉄筋コンクリートの単位体積重量は，一般に 24 kN/m^3 から 25 kN/m^3 とする。
2. 建築物の固定荷重や積載荷重を減じても，かかる地震力は低減できない。
3. 建築物を風の方向に対して有効にさえぎる防風林がある場合，その方向における速度圧を $\frac{1}{2}$ まで減らすことができる。
4. 床の構造計算をする場合と大梁の構造計算をする場合では，異なる単位床面積当たりの積載荷重を用いることができる。

※ **問題番号**〔No.　5〕から〔No. 14〕までの **10 問題**のうちから，**5 問題を選択し，解答**してください。
5 問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

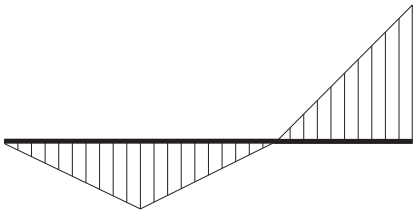
〔No. 11〕 図に示す片持梁 AB の点 A，点 C 及び点 D に，それぞれ図に示すような集中荷重が同時に作用したときの曲げモーメント図として，**正しいもの**はどれか。
ただし，曲げモーメントは材の引張側に描くものとする。



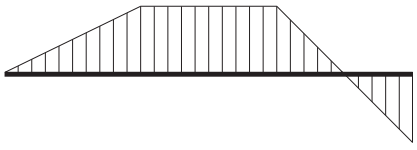
1.



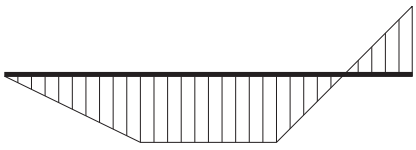
2.



3.



4.



※ **問題番号**〔No.　5〕から〔No. 14〕までの**10問題**のうちから，**5問題を選択し，解答**してください。
5問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 12〕 コンクリートに関する一般的な記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 打込み後の養生温度が高いほど，長期材齢における強度増進性は小さくなる。
2. 硬化後のコンクリートの圧縮強度が大きいほど，ヤング係数は大きくなる。
3. スランプの値が小さいほど，フレッシュコンクリートの流動性は小さくなる。
4. 水セメント比が大きいほど，圧縮強度は大きくなる。

〔No. 13〕 木材の一般的な性質に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 強度は，繊維飽和点以下では，含水率の減少とともに低下する。
2. 繊維方向の圧縮強度は，繊維に直交する方向の圧縮強度より高い。
3. 樹種による圧縮強度は，高い順に，けやき，ひのき，すぎとなる。
4. 辺材部分は，心材部分より含水率が高い。

〔No. 14〕 シーリング材に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. ポリサルファイド系シーリング材は，ムーブメントが大きい目地には好ましくない。
2. ポリウレタン系シーリング材は，表面にべたつき等タックが残ることがある。
3. シリコーン系シーリング材は，紫外線により変色しやすい。
4. アクリルウレタン系シーリング材は，施工時の気温や湿度が高い場合，発泡のおそれがある。

※　**問題番号**〔No．15〕から〔No．17〕までの**3問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．15〕　測量に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 距離測量は，2点間の距離を求める測量で，巻尺や光波測距儀等を用いる。
2. トラバース測量は，測点間の角度と距離を測定して各測点の位置を求める測量で，トータルステーション等を用いる。
3. 角測量は，水平角と鉛直角を求める測量で，セオドライト等を用いる。
4. 平板測量は，測点の距離と高さを間接的に求める測量で，標尺等を用いる。

〔No．16〕　LED照明に関する一般的な記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 光の照射方向に熱をほとんど発しないため，生鮮食料品用の照明に適している。
2. 蛍光灯や電球に比べ耐熱性が高いため，高温となる発熱体の周辺への設置に適している。
3. 光線に紫外線をほとんど含まないため，虫が寄り付きにくく，屋外照明に適している。
4. 省電力と視認性を両立できるため，交通信号灯に適している。

〔No．17〕　建築設備に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 泡消火設備は，通信機器室の消火に適している。
2. 都市ガス用のガス漏れ警報器は，天井面あるいは天井に近い壁面に取り付ける。
3. ヒートポンプ方式は，蒸発器により低温の空気や水から熱を吸収し，凝縮器から放熱して暖房に利用するものである。
4. ストレーナは，水や蒸気等の流体に含まれる異物を除去するためのろ過装置である。

※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの**10問題**のうちから，**7問題を選択し，解答**してください。
7問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 18〕 土質調査における標準貫入試験に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 本打ちの打撃回数は，特に必要がない場合，50回を限度とする。
2. 本打ちにおいて，貫入量が300 mmに達しない場合，打撃回数に対する貫入量を記録する。
3. 標準貫入試験用サンプラーにより，乱さない土の試料を採取できる。
4. N値やボーリングの採取試料の観察記録は，土質柱状図としてまとめる。

〔No. 19〕 型枠支保工に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 支柱としてパイプサポートを継いで用いるため，4本のボルトで緊結した。
2. パイプサポートに設ける水平つなぎは，番線を用いて緊結した。
3. 地盤上に直接支柱を立てるため，支柱の下に剛性のある敷板を敷いた。
4. 鋼管枠を支柱として用いる際に，最上層及び5層以内ごとに水平つなぎを設けた。

〔No. 20〕 鉄骨の錆止め塗装に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 素地調整を行った面は，素地が落ち着くまで数日あけて塗装を行った。
2. 高力ボルト摩擦接合部の摩擦面は，塗装を行わなかった。
3. コンクリートに埋め込まれる部分は，塗装を行わなかった。
4. 工場塗装を行う部材は，塗装検査以外の検査を終了した後に塗装を行った。

〔No. 21〕 木造在来軸組構法に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 通し貫は，柱に差し通し，接合部を両面からくさび締めにした。
2. 筋かいと間柱の交差する部分は，間柱を筋かいの厚さだけ欠き取って筋かいを通した。
3. 火打梁は，柱と梁との鉛直構面の隅角部に斜めに入れた。
4. 接合部のボルトは，構造耐力上影響を及ぼさない深さで木部の彫込みを行い，表面より沈めた。

※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの**10問題**のうちから，**7問題を選択し，解答**してください。
7問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 22〕 木造建築物の解体工事に係る施工方法に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 解体作業は，建築設備と内装材，屋根葺材，外装材，上部構造物の順に作業を進めた。
2. 木質下地に留め付けられている外壁の薄型ALCパネルは，バールやハンマーを使用して取り外した。
3. 外壁の断熱材として使用されているグラスウールは，細断しながら取り外した。
4. 建物外周部は，解体時の騒音防止や粉塵等の飛散防止のため，防炎処理されたシートで養生した。

〔No. 23〕 ウレタンゴム系塗膜防水の密着工法に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 下地のコンクリートは，出隅を面取り，入隅を直角に仕上げた。
2. 補強布の張付けは，突付け張りとした。
3. 平場部の防水材の塗付けは，工程を2回に分割して行った。
4. 防水材の塗継ぎは，重ね幅を100 mmで行った。

〔No. 24〕 壁タイル後張り工法に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 密着張りにおいて，タイルは下部から上部に張り進めた。
2. 改良圧着張りにおいて，下地面とタイル裏面の両方に張付けモルタルを塗り付けた。
3. 気温が5℃以下になるおそれがあったため，タイル張りの施工を中止した。
4. 接着剤張りの接着剤は，壁面に対してくし目ごてを60°の角度を保ってくし目をつけた。

※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの**10問題**のうちから，**7問題を選択し，解答**してください。
7問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 25〕 塗装工事に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 押出成形セメント板面の塗装に，合成樹脂調合ペイントを用いた。
2. 高粘度，高濃度の塗料による厚膜塗装とするため，エアレススプレーを用いて吹き付けた。
3. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りにおいて，下塗りには上塗りと同一材料を用いた。
4. 壁面をローラーブラシ塗りとする際，隅角部やちり回り等は，小刷毛を用いて先に塗布した。

〔No. 26〕 釘留め工法によるフローリングボード張りに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 根太張り工法におけるフローリングボードは，厚さが10 mmの単層フローリングボードを用いた。
2. 根太張り工法におけるフローリングボードを張り込む際，隣接するボードの継手位置を離して割り付けた。
3. フローリングボードを下張り用床板に張り付ける際，下張り用床板に接着剤を波状に150 g/m^{2}程度塗り付けた。
4. 壁，幅木，框及び敷居とフローリングボードの取合いには，板の伸縮に備えた隙間を設けた。

※ **問題番号**〔No. 18〕から〔No. 27〕までの **10 問題**のうちから，**7 問題を選択し，解答**してください。
7 問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を **1 つ**選んでください。

〔No. 27〕 フリーアクセスフロアに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. クリーンルームでは，床下に作業者が入れるように，根太や大引等の下地を設けてパネルを支持する根太方式とした。
2. 床パネルの表面材は，コンピュータ等の誤動作の原因とならないように，帯電防止性能をもつタイルカーペットとした。
3. 床パネルの各辺の長さが 500 mm だったため，幅及び長さの寸法精度は，± 0.5 mm 以内とした。
4. 高さ調整機能のない置敷きスペーサー方式の床パネル取付け後の水平精度は，隣接する床パネルどうしの高さの差を 2 mm 以下とした。

※　**問題番号**〔No．28〕から〔No．37〕までの**10問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．28〕　事前調査に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 仮設排水計画に当たり，汚水と雨水との区分の必要があるか確認をすることとした。
2. 掘削工事の計画に当たり，既存の地下埋設物を記載した図面があったが，位置や規模の確認のための試掘調査を行うこととした。
3. 山留め工事の計画に当たり，前面道路や周辺地盤の高低の調査を行うこととした。
4. 鉄骨の建方計画に当たり，近隣の商店や工場の業種について調査を行うこととした。

〔No．29〕　仮設計画に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 鋼板製仮囲いの下端には，雨水が流れ出やすいように隙間を設けることとした。
2. 敷地内に仮設道路を設置するに当たり，地盤が軟弱であったため，浅層地盤改良を行うこととした。
3. 工事用ゲートには，車両の入退場を知らせる標示灯を設置したが，周辺生活環境に配慮してブザーを設置しないこととした。
4. 工事現場の周辺状況により，危害防止上支障がないことから，仮囲いとしてガードフェンスを設置することとした。

〔No．30〕　労働基準監督署長に届け出なければならないものとして，**不適当なもの**はどれか。

1. 積載荷重が0.5tの仮設の人荷用エレベーターの設置届
2. 支柱の高さが3.5m以上の型枠支保工の設置届
3. 高さが10m以上で，設置期間が60日以上の枠組足場の設置届
4. つり上げ荷重が3tのクレーンの設置届

〔No．31〕　工程計画の検討に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 敷地周辺の上下水道やガス等の公共埋設物を把握する。
2. 使用揚重機の能力と台数による効率やコストへの影響を検討する。
3. 敷地における騒音及び振動に関する法的規制を把握する。
4. 工程上の主要管理項目を把握するため，最初に工種別の施工組織体系を全て明確にする。

※　**問題番号**〔No．28〕から〔No．37〕までの**10問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．32〕　バーチャート工程表に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 主要な工事の節目をマイルストーンとして工程表に付加すると，工程の進捗状況が把握しやすくなる。
2. 工事全体を掌握することが容易で，作成しやすい。
3. 工程表に示す作業を増やしたり，作業を細分化すると，作業間の関係が把握しやすくなる。
4. 各作業の所要日数や施工日程が把握しやすい。

〔No．33〕　トルシア形高力ボルトのマーキングに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. マーキングは，ボルト軸からナット，座金及び母材にかけて一直線に行う。
2. マーキングは，一次締めの後に行う。
3. マークのずれによって，トルク値を確認できる。
4. マークのずれによって，ナットの回転量を確認できる。

〔No．34〕　品質管理のための試験に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. タイル工事において，外壁タイルの接着力の確認のため，引張接着試験を行った。
2. シーリング工事において，接着性の確認のため，圧縮せん断接着強さ試験を行った。
3. 鉄筋工事において，鉄筋のガス圧接部の確認のため，超音波探傷試験を行った。
4. 地業工事において，支持地盤の地耐力の確認のため，平板載荷試験を行った。

〔No．35〕　コンクリートの試験に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 1回の圧縮強度試験の供試体の個数は，3個とした。
2. 調合管理強度の試験に用いる供試体の養生方法は，現場水中養生とした。
3. 粗骨材の最大寸法が20 mmの高流動コンクリートは，スランプフロー試験を行った。
4. スランプ試験において，スランプコーンを引き上げた後，コンクリートが偏って形が不均衡になったため，別の試料によって新たに試験を行った。

※ **問題番号**〔No．28〕から〔No．37〕までの**10問題**は，**全問題を解答**してください。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．36〕 建築工事における公衆に対する危害又は迷惑を防止するための対策に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. くずやごみの投下による飛散を防止するため，ダストシュートを設置した。
2. 歩行者等通路の見通し確保のため，仮囲いのコーナー部分にクリアパネルを設置した。
3. 解体時の騒音やコンクリート片の飛散を防止するため，防音パネルを設置した。
4. 外壁の塗装における塗料の飛散を防止するため，外部足場に集塵装置を設置した。

〔No．37〕 事業者の講ずべき措置として，「労働安全衛生法」上，**定められていないもの**はどれか。

1. 労働者が有効に利用することができる休憩の設備を設けるように努めること。
2. 高所作業車を用いて作業を行う場合，高所作業車等作業主任者を選任すること。
3. 多量の発汗を伴う作業場において，労働者に与えるために，塩及び飲料水を備え付けること。
4. 日常行う清掃のほか，大掃除を定期に，統一的に行う措置を講ずること。

※ **問題番号**〔No．38〕から〔No．42〕までの**5問題は能力問題**です。**全問題を解答**してください。
問題は**五肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．38〕 鉄筋の加工及び組立てに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 鉄筋の加工寸法の表示及び計測は，突当て長さ（外側寸法）を用いて行う。
2. 鉄筋の折曲げ加工は，常温で行う。
3. 梁主筋末端部のフックにおける余長の最小寸法は，折曲げ角度が大きいほど長くなる。
4. 矩形柱の帯筋は，四隅すべてを柱主筋と結束する。
5. 床開口部補強のための斜め補強筋は，上下筋の内側に配筋する。

〔No．39〕 コンクリートの製造に関する一般的な記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. レディーミクストコンクリートの購入者が指定できる項目には，骨材の種類は含まれない。
2. レディーミクストコンクリートの塩化物含有量は，塩化物イオン量で0.30 kg/m^{3}以下とする。
3. レディーミクストコンクリートの空気量は，荷卸し時に，規定された値の範囲内となるようにする。
4. 暑中コンクリートの温度上昇を防ぐために行う骨材への散水は，細骨材の場合，粗骨材に比べて冷却効果は期待できない。
5. 寒中コンクリートの製造において，ミキサー内で練り混ぜた骨材及び水の温度は，セメント投入直前の段階で40℃以下とする。

※ **問題番号**〔No. 38〕から〔No. 42〕までの**5問題は能力問題**です。**全問題を解答**してください。
問題は**五肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No. 40〕 金属の表面仕上げに関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 鋼材の電気めっきとは，母材を電解液中で通電して，表面に皮膜金属を生成させた仕上げである。
2. 鋼材の樹脂焼付け塗装とは，樹脂塗料をエアスプレーで塗布した後，所定の温度で焼き付けた仕上げである。
3. ステンレス板のエンボスとは，凹凸の模様を施したロールで，その模様を圧延転写した仕上げである。
4. ステンレス板のBAとは，研磨材で連続したみがき目がつくように研磨した仕上げである。
5. アルミニウム合金の自然発色皮膜とは，有機酸を用いた陽極酸化処理を行い，皮膜の生成と同時に発色させた仕上げである。

〔No. 41〕 建具金物に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. グレモン錠は，レバーハンドルを回すことで扉の上下からボルトが突出して施錠するもので，高い気密性を要する扉に用いられる。
2. フロアヒンジは，床に埋め込む箱形の金物で，自閉機能があり，比較的重量の大きな建具に用いられる。
3. モノロックは，デッドボルトとラッチボルトを有する錠で，シリンダー箱錠に比べ防犯効果があり，外部扉に用いられる。
4. フランス落しは，両開き建具の召合せ面に彫り込んで取り付ける上げ落し金物で，錠がつかない側の扉に用いられる。
5. グラビティヒンジは，扉側と枠側のヒンジ部の勾配を利用することで，常時開又は常時閉鎖の設定ができる金物で，トイレブースの扉に用いられる。

※　**問題番号**〔No．38〕から〔No．42〕までの**5問題は能力問題**です。**全問題を解答**してください。
問題は**五肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．42〕　施工計画書の作成に関する記述として，**最も不適当なもの**はどれか。

1. 総合施工計画書は，総合仮設計画を含めて作成する。
2. 総合施工計画書の作成に当たり，敷地周辺の交通量や交通規制等を調査する。
3. 総合施工計画書の作成に当たり，敷地境界線及び標石の位置を調査する。
4. 工種別施工計画書は，総合施工計画書に先立って作成する。
5. 工種別施工計画書は，品質管理計画書や施工要領書を含めて作成する。

※ **問題番号**〔No．43〕から〔No．50〕までの**8問題**のうちから，**6問題を選択し，解答**してください。
6問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．43〕 建築確認手続き等に関する記述として，「建築基準法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 特定工程後の工程に係る工事は，当該特定工程に係る中間検査合格証の交付を受けた後でなければ，これを施工してはならない。
2. 工事施工者は，確認申請が必要な工事の場合，設計図書を工事現場に備えておかなければならない。
3. 高さが2mを超える擁壁は，確認済証の交付を受けた後でなければ，これを施工してはならない。
4. 建築主事等は，工事の完了検査の申請を受理した場合，その受理した日から14日以内に検査をしなければならない。

〔No．44〕 次の記述のうち，「建築基準法施行令」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 階段の幅が3mを超える場合，原則として，中間に手すりを設けなければならない。
2. 居室の天井の高さは，室の床面から測り，1室で天井の高さの異なる部分がある場合は，最も低いところの高さによる。
3. 階段に代わる傾斜路には，原則として，手すりを設けなければならない。
4. 映画館における客用の階段で高さが3mを超えるものには，3m以内ごとに踊場を設けなければならない。

※ **問題番号**〔No．43〕から〔No．50〕までの**8問題**のうちから，**6問題を選択し，解答**してください。
6問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．45〕 建設業許可の変更等の届出に関する記述として，「建設業法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 許可を受けた建設業の使用人数に変更を生じたときは，その旨を書面で届け出なければならない。
2. 許可を受けた建設業者は，業種の区分について変更があったときは，その旨を書面で提出しなければならない。
3. 許可を受けた建設業の営業所に置く専任の技術者について，代わるべき者があるときは，2週間以内に，その者について，書面を提出しなければならない。
4. 許可を受けた建設業者は，毎事業年度終了の時における工事経歴書を，毎事業年度経過後4月以内に，提出しなければならない。

〔No．46〕 建設工事現場に設置する技術者に関する記述として，「建設業法」上，**誤っているもの**はどれか。

1. 建設業者は，請け負った建設工事を施工するときは，現場代理人の設置にかかわらず，主任技術者又は監理技術者を置かなければならない。
2. 主任技術者は，工事現場における建設工事を適正に実施するため，当該建設工事の施工計画の作成，工程管理，品質管理の職務を誠実に行わなければならない。
3. 学校教育法による大学を卒業後，1年以上実務の経験を有する者で在学中に国土交通省令で定める学科を修めたものは，主任技術者になることができる。
4. 主任技術者を設置する工事で専任が必要とされるものでも，密接な関係のある2以上の建設工事を同一の建設業者が同一の場所において施工するものについては，これらの工事を同一の専任の主任技術者が管理することができる。

※　**問題番号**〔No．43〕から〔No．50〕までの**8問題**のうちから，**6問題を選択し，解答**してください。
6問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．47〕　次の業務のうち，「労働基準法」上，満17才の者を**就かせてはならない業務**はどれか。

1. バックホウの運転の業務
2. 電気ホイストの運転の業務
3. 最大積載荷重1tのロングスパン工事用エレベーターの運転の業務
4. 直径が20cmの丸のこ盤を使用する業務

〔No．48〕　労働契約の締結に際し，「労働基準法」上，使用者が労働者に対して，**書面で交付しなければならない労働条件**はどれか。
　ただし，書面の交付には，ファクシミリや電子メール等の法令で定められた方法を含むものとする。

1. 災害補償及び業務外の傷病扶助に関する事項
2. 変更の範囲を含む就業の場所及び従事すべき業務に関する事項
3. 安全及び衛生に関する事項
4. 休職に関する事項

〔No．49〕　産業廃棄物の運搬又は処分の委託契約書に記載しなければならない事項として，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上，**定められていないもの**はどれか。
　ただし，特別管理産業廃棄物を除くものとする。

1. 委託者が受託者に支払う料金
2. 受託業務終了時の受託者の委託者への報告に関する事項
3. 運搬を委託するときは，その運搬の方法
4. 処分を委託するときは，その処分の方法

※ **問題番号**〔No．43〕から〔No．50〕までの**8問題**のうちから，**6問題を選択し，解答**してください。
6問題を超えて解答した場合，減点となります。
問題は**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を**1つ**選んでください。

〔No．50〕 「騒音規制法」上，指定地域内における特定建設作業を伴う建設工事の施工に際し，市町村長への**届出書に記入又は添附する必要のないもの**はどれか。

1. 建設工事の目的に係る施設又は工作物の種類
2. 建設工事の名称並びに発注者の氏名又は名称
3. 特定建設作業の場所の附近の見取図
4. 特定建設作業に係る仮設計画図